

事業の背景・目的

本市では、コウノトリが舞う里づくりとして、地域住民主体の希少野生生物の保全再生活動を進め、市内の希少野生生物の生息状況や危機について広く市民に周知し認識を得ることを目的としている。具体的には、地域住民主体の希少野生生物保全対策とモニタリング活動を中心とした国内希少野生動植物等対策事業と、河川・水路の自然環境保全事業を行う。

事業の内容

事業① 国内希少野生動植物等対策事業

- 希少野生生物及び生物多様性保全研修会の開催

アベサンショウオの産卵場所の整備とビオトープの生物多様性について、地域住民を対象に実地研修を行った。

城西大学の石黒直哉准教授をお招きし、環境DNAを用いたモニタリング方法を学んだ。

事業② 河川・水路の自然環境保全事業

絶滅危惧ⅠBに分類されるナガレホトケドジョウの生息が確認されている地域において、委託事業による捕獲及び環境調査を実施し生息環境の現状を把握した。

また、トミヨの生息地において、生息環境の現状把握等を委託調査により実施した。

城西大学との共同研究により環境DNAを用いたモニタリングを行った。



データロガー式温度計
による生息環境調査

得られた成果

- 希少種研修会の開催により、生息状況や環境DNAをはじめとする新たなモニタリング技術について情報共有することができた。
- 環境DNA分析に用いるための、ホトケドジョウ属及びトミヨ属に特異的なDNAマーカーの開発に成功した。
- 市内に生息する希少種について地域住民によるモニタリング及び環境DNA分析等により生息状況を把握することができた。